

よしだ

宮崎市委員

吉田まさき

どこまでも一人の声に
耳を傾け
市民のための政治を!



吉田まさきのビジョン

- ☐ 苦学の経験を活かし、将来ある青年へ学びの門戸を開くため、奨学金の拡充を目指します。
- ☐ ワカモノが働きやすい社会へ、職業訓練の拡充を目指します。
- ☐ 専門知識を活かし、災害に備えたライフラインの強化を目指します。
- ☐ 高齢者の方が安心して暮らせる街づくりのため、地域包括ケアシステムの構築を目指します。

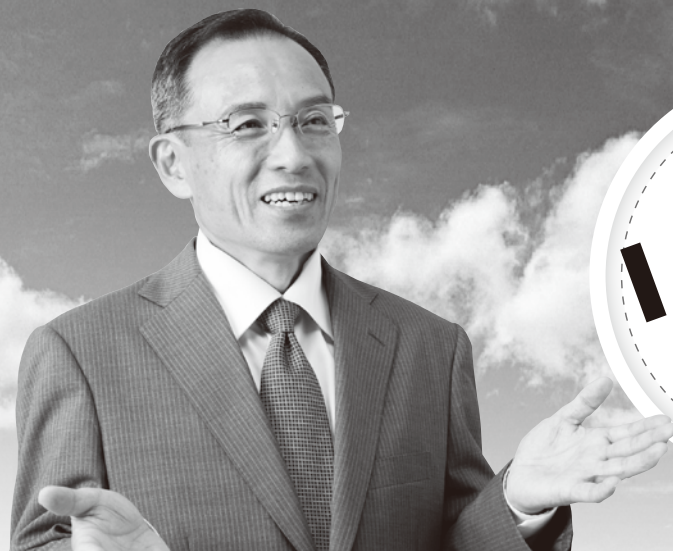


吉田まさき

よしだ

プロフィール

- 昭和33年
宮崎県延岡市生まれ
- 昭和46年
延岡市立旭小学校卒業
- 昭和49年
延岡市立旭中学校卒業
- 昭和52年
宮崎県立延岡西高等学校卒業
- 昭和56年
創価大学卒業
- (株)ホンダロックなどを経て現在
に至る
- 公明党宮崎第二支部副支部長
- 家族は 妻、一男、一女



I LOVE
宮崎

身近な積み重ねを、 市政に反映 社会経験豊かな即戦力

ストーリー①

幼少期には中耳炎や蓄膿症を併発し、毎週通院しながら小学校に通学するも、中学校ではバスケットボールキャプテンとして、市大会ベスト4の原動力に。勝利という目的に向かって、部員とお互いを尊重しながら団結することの大切さを学ぶ。

ストーリー③

希望を胸に(株)ホンダロックに入社するも、仕事の厳しさを知る。壁を一つ一つ乗り越えながら、社会人として成長。平成7年に転勤で赴いた三重県鈴鹿市において、阪神淡路大震災を経験。休日には、三重から兵庫へ救援物資を輸送するなど、被災者支援にボランティアとして加わる中で、物流の重要性やインフラ整備の大切さを実感した。

ストーリー②

母子家庭で経済的な理由から高校進学を諦めかけた時、地域の先輩方の励ましを受け、奨学金を受けながら進学。どんな困難があっても諦めない心を培うことができた。高校では、生徒会長として学校行事に全力で取り組む。大学時代は、複数のアルバイトを掛け持ち、苦学の末、卒業。

ストーリー④

その後、転職した上下水道の維持管理会社でライフラインに関する専門知識を学ぶ。東日本大震災においては、三重県内の上下水道の会社と連携し、震災直後の被災地でトイレ、下水道などの復旧作業に尽力した。

吉田まさき物語



©NEW KOMETTO

公明党宮崎市議団の実績

- 公立全小中学校の耐震化を推進しました。
- 胃がん検診にピロリ菌検査を導入しました。
- 期日前投票宣誓書のダウンロード化を推進しました。
- 不妊治療、妊婦検診の助成を推進しました。
- 公立全小中学校に「防災主任」を配置し、「防災教育」を推進しました。
- 議員定数削減、議会基本条例の制定を推進しました。